

日本エンドレス株式会社社長・成毛義光氏が

日刊工業新聞社

「第32回優秀経営者顕彰」

優秀創業者賞」受賞

モノづくり企業に特化した製造業向け専門紙「日刊工業新聞」を発行する日刊工業新聞社では、毎年「優秀経営者顕彰」として、優れた経営手腕で企業を発展させ産業経済と地域社会に貢献した中堅・中小企業経営者を表彰している。12月に発表となった第32回同顕彰のうち、「優秀創業者賞」に、東京都板橋区に本社を構える日本エンドレス株式会社の代表取締役である成毛義光氏が選出された。

レンタルマットとレンタルモップを中心に、使い捨ておしぼりの直販やふとんの丸洗いなどダストコントロール業を広く手がける同社。昭和18年（1943年）生まれの同氏は昭和46年（1971年）に27歳の若さでキャビネットタオル、レンタル事業を目的とする「エンドレス」を

創業、翌年には同事業を日本エンドレス株式会社として法人化する。

経営理念に定めた「信用・努力・創造」を具現化する企業ポリシーとして「お客様第一主義」を掲げ、顧客のニーズを的確に反映したダストコントロール製品の企画から開発、製造、レンタル・販売・洗浄までを一貫して行うシステムを確立した。一貫生産体制は、フランチャイズが主流の業界にあってきわめてユニークだ。この「お客様第一主義」の生産体制は、クライアント1社に対して営業マン、ルートサービスマン、マネージャーと3名の担当者を付ける手厚い顧客対応へと繋がっており、顧客サービスに妥協なくリソースを割くことで徹底したニーズの吸い上げやきめ細やかなフォロー・サポートを実現している。

また、同社の成長に伴いダストコントロール事業を展開していく過程で、平成3年（1991年）に不織布おしぼりの製造販売を行う「日本ラインファースト株式会社」を設立。平成12年（2000年）には日本エンドレス株式会社並びに日本ラインファースト株式会社の2社全部門でISO9001・2000を認証取得している。さらに、平成25年（2013年）には社歴50年を数える「株式会社リース東京」をM&Aし、エンドレスグループ第3の企業として経営に乗り出すなど、古希を迎えた同氏は現在なお精力的に事業を推進させ、地域や日本の経済発展に貢献している。

幾多の試練や困難を乗り越えて今日の同社を築いた同氏の経営手腕は外部からも評価が高く、同社は卓越

した業績を生み出す経営の仕組みを有する企業として平成11年（1999年）に「板橋経営品質奨励賞」を、翌平成12年（2000年）には「板橋経営品質賞大賞」を相次いで受賞。経営内容を評価された同氏は、同社経営の激務のかたわら板橋区経営刷新委員会の委員を務めており、民間企業の経営者代表として板橋区政や地域の経済活動の活性化にも尽力している。また、創業社長として蓄積してきた経験やノウハウ、経営哲学を未来へと継承すべく、講演活動なども積極的に行っており、地域の若手経営者からの信望も厚い。個人での創業以来43年間に渡るこうした社会貢献が正しく評価され、今回の「優秀創業者賞」受賞となった。小誌としても、後進の育成や地域経済、ひいては日本経済へのさらなる貢献に向けて、今後の同氏の一層の活躍を期待している。1月には都内で表彰式が行われるが、まずは誌上にて、同氏の今回の受賞を心より祝福したい。



◎日本エンドレス株式会社

(本社)〒175-0081
東京都板橋区新河岸2-7-7 エンドレスビル
TEL.03-5383-6777
<http://www.endress.co.jp/>